

輝け！シン尾花沢中

心ゆたかに たくましく 理想をうたう わが学園

他人の心の痛みが分かる真心ある生徒に

昨今「自分さえよければ、他人のことはどうでもいい」という考えからの残念な事件・事案が報道をにぎわせています。私は「他人の不幸の上に成り立つ幸せなどない」と確信しています。

また、令和8年度には、福原中学校との統合を控えています。生徒や保護者の皆さんの「小規模の福原中学校から尾花沢中学校に行ってもうまくやっていけるだろうか」という不安な気持ちを、以前勤務していたことのある私は、とてもよく理解しているつもりです。

これらのことを踏まえ、今年度、最も力を入れて取り組みたいと思っている「誠実」に関する内容を、次のように定めたところです。

誠実

人を大切に

何事にもまじめで、他人の心の痛みが分かる真心ある生徒

重点① 特別活動を要とした「居場所づくり・絆づくり」の推進

学級活動(合意形成・自己決定)・生徒会活動・学校行事の充実

重点② 道徳科を要とした道徳教育の充実

道徳的価値の理解を基に、自己を見つめ、多面的・多角的に考える⇒人間としての生き方

『君たちはどう生きるか』（吉野源三郎著）では、「人は一人では生きていくことはできない、他人の恩恵により生かされている」と説いています。

だからこそ、他人の心の痛みが分かる真心ある人間に育ってほしいと心から願っています。

すなわち「自分のどんな言動が他人の心を傷つけてしまうのか」を想像できる人間になるということです。

そのために、普段の生活の中で他人の心に思いを馳せるよう心がけてみてください。

中国古代の思想家の孔子の対話を記した『論語』に、次のようなものがあります。

(子貢問うて曰わく) 一言にして以て終身これを行うべき者ありや。

(子曰わく) 其れ恕か。己の欲せざる所人に施す勿れ。

〔訳〕弟子の子貢が、孔子に問うた。一生を通して行うべきことを一言でいうとすると…？

それは「恕」だ。自分にしてほしくない事は、他人にもしてはならない！

【参考】論語 自分を自分で守れる自分を創る 如水著

まず、自分がされて嫌なことは他人にしないことから始めましょう。

最後に。私は、寝る前に自分の一日の言動を振り返るようにしています。「あんなことを言わなければよかった」「あんなことをしなければよかった」と反省ばかりです。

私も「己の欲せざる所人に施す勿れ」を修行中の身です。 【文責 校長：工藤雅史】